



近頃は朝晩めっきり冷え込むこともあり、冬の訪れを感じる毎日です。山陰地方には白鳥などの渡り鳥もやってくるようになりました。これからの気温が安定しない時期は、家畜も体調を崩しがちになります。特に幼いものは弱いので、よく観察してあげてください。

子牛を病気から守りましょう!!

<観察のポイント>

○飼料(または乳)はよく食べ(飲み)ますか？

残飼量を確認しましょう。活気はありますか？

○鼻水を垂らしていたり、咳をしていたりしませんか？

1日に1度は明るいところで観察しましょう。呼吸数は増えていませんか？通常、子牛は1分間に20～50回の呼吸数です。60回以上だと異常です。熱はありませんか？子牛は体温が高めですが、39.5℃を超えると要注意です。体温計は家畜診療所でも販売していますよ。

○糞がいつもより柔らかかったり、お尻が汚れていませんか？

子牛は、胃腸炎(腹カゼ)を起こしやすいので注意しましょう。

○伏せたままじっとしていませんか？

元気がないと寝ている時間が長くなります。耳が垂れるのも要注意です。



<冬の寒さに備える>

子牛は、親牛よりも寒さに弱いです。理由として、第一胃での発酵が少ない(発酵すると熱が出ます。湯たんぽみたいなものですね)、体温が下がりやすい(体表の面積の割合が親より大きい)、毛や皮下脂肪が少ない、ということがあげられます。

○生れた直後は、すぐに拭いて乾かしましょう。

○乾いた敷料を多めに敷いてあげましょう。

○ヒーター等で直接温めることも有効です(火事には注意!!)。

○飲み水も温めてあげてください。冷たいと飲水量が減り、採食量も減ります。

○使い捨てカイロを使って腹を温めることも可能です。カイロを靴下に入れたりタオルに巻いたりして、ゴムひもやストッキングを使って腹に巻いてください。

<病気を予防する>

○初乳は確実に飲ませてください。

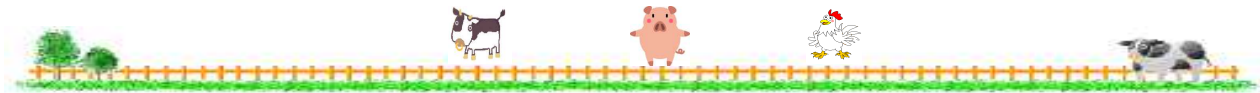
○分娩前後の母牛の増し飼いは必ずしましょう。特に分娩前の増し飼いは、免疫力の高い子牛の生産につながります。

○ビタミン剤はいかがですか？気管や腸管の粘膜保護にビタミンAは効果があります。

○ワクチンを活用しましょう。下痢の予防、呼吸器の予防ワクチンがあります。

○寒い時期には保温も必要ですが、換気も大切です。1日に何回か、時間を決めて換気を行きましょう。

もし病気になった場合、治療が遅れると治りにくくなります。よく観察して、何かおかしいと思ったら、獣医さんに相談してください。



養鶏農家のみなさまへ ～鳥インフルエンザウイルスについて～

渡り鳥の本格的な飛来シーズンとなりました。韓国や中国などの近隣諸国では、高病原性鳥インフルエンザの発生が続いています。防疫対策を継続し、特に以下の3点について再確認をお願いします。

1. 農場における飼養衛生管理の確認
2. 野鳥の侵入対策及びねずみの駆除対策
3. 高病原性鳥インフルエンザを疑う症状の発見時、早期通報

ところでインフルエンザウイルスが環境中にどれほど生存しているのでしょうか？

- 水中では… 22℃で4日間、0℃で33日間
- 糞中では… 37℃で6日間、4℃で35日間以上

温度が低いほど長い間生存するので、冬はその点でもウイルスにとって都合の良い環境というわけです。また乾燥に弱いので、糞の中など水分のある環境でないと感染力を失います。

では逆に、どうすればウイルスをやっつけることができるのかというと…

- 高温 : 60℃で30分
- ほとんどの消毒薬 : アルコール、逆性石鹼、ハロゲン化合物
- アルカリ性や酸性 : 消石灰

インフルエンザウイルスは、比較的抵抗力の弱いウイルスです。消毒薬を有効にご活用ください。その際、長靴等の汚れが消毒薬に混じると効力が弱まりますので、ご注意ください。

牛、豚農家のみなさまへ ～近隣諸国で口蹄疫が発生しています～

物流や人の移動が国際的となり、いつ海外から口蹄疫等が入ってきてても不思議ではない状況です。農場に病原体を持ち込まないために

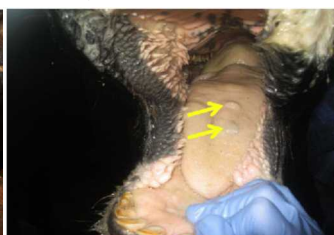
- 海外から帰って一週間以内の人は農場に入らない（入らせない）
- 出入りする人および車両の消毒

を行ってください。

口蹄疫を疑う症状としては、以下のようなものがあります。



泡沫性流涎(黒毛和種)



舌の水疱(初期)(ホルスタイン種)



鼻平面の潰瘍



蹄冠部皮膚のびらん

このような症状が見られましたら、家畜保健衛生所か担当の獣医さんまで連絡をお願いします。その際、21日以内に出入りした家畜や人、車について確認させていただきますので、普段からカレンダーに書き込む等をしてわかるようにしておいてください。

島根県松江家畜保健衛生所

- 本所（島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部）

〒699-0109 松江市東出雲町錦浜 474-2

TEL (0852) 52-5230 公用携帯 080-1935-0883 FAX (0852) 52-3377

- 隠岐支所（島根県隠岐支庁農林局家畜衛生部）

〒685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口 24

TEL (08512) 2-9690 公用携帯 080-1935-0886 FAX (08512) 2-9657